

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月14日
【四半期会計期間】	第51期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)
【会社名】	アズワン株式会社
【英訳名】	AS ONE CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼CEO 井内 英夫
【本店の所在の場所】	大阪市西区江戸堀二丁目1番27号
【電話番号】	06(6447)1210
【事務連絡者氏名】	常務取締役経営戦略本部長 入江 庸二
【最寄りの連絡場所】	大阪市西区江戸堀二丁目1番27号
【電話番号】	06(6447)1210
【事務連絡者氏名】	常務取締役経営戦略本部長 入江 庸二
【縦覧に供する場所】	アズワン株式会社 東京支店 (東京都中央区日本橋浜町二丁目12番4号) アズワン株式会社 横浜支店 (横浜市港北区新横浜二丁目2番15号) アズワン株式会社 名古屋支店 (名古屋市中区栄二丁目9番3号伏見第一ビル6階) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第50期 第2四半期 連結累計期間		第51期 第2四半期 連結累計期間		第50期	
		自 至	平成22年4月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成22年4月1日 平成23年3月31日
売上高	(千円)		21,154,356		22,152,501		45,531,617
経常利益	(千円)		2,133,457		2,082,523		4,729,986
四半期(当期)純利益	(千円)		1,114,561		1,236,077		2,495,469
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		893,879		1,180,740		2,339,199
純資産額	(千円)		34,107,382		35,464,784		34,629,064
総資産額	(千円)		50,806,861		59,911,649		61,723,573
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		57.29		64.50		128.54
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		-		-		-
自己資本比率	(%)		67.13		59.20		56.10
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,749,294		2,284,055		2,231,740
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,624,361		6,782,619		1,592,834
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		796,764		668,952		6,885,849
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		5,397,220		8,121,209		13,619,335

回次		第50期 第2四半期 連結会計期間		第51期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成22年7月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		24.52		28.86

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 第50期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社グループの報告セグメントは一つのため、セグメント別の記載はしていません。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社を取りまく事業環境は、東日本大震災による製品・部品の供給網の寸断の復旧に伴い、企業の生産活動は徐々に持ち直しつつありますが、電力供給不足の問題に加え、円高の急速な進行等により、企業の慎重な姿勢は変わらず、不透明な状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループとしては、本年6月に食品検査・衛生管理用品カタログ「サニーフーズ2011」及びクリニック用医療用品カタログ「ナビケア2011」を発刊し、ユーザーサポートの拡充等積極的な営業活動に注力いたしました。

こうした取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、221億52百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。部門別では、研究・産業機器部門につきましては、174億57百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。一方、病院・介護部門につきましては、46億94百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

また、損益につきましては、営業利益が26億18百万円（前年同四半期比23.4%増）、経常利益が20億82百万円（前年同四半期比2.4%減）、四半期純利益は12億36百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、414億78百万円（前連結会計年度末比15億80百万円減）となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が23億25百万円減少した一方、現金及び預金が4億75百万円増加したこと、たな卸資産が4億43百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、184億33百万円（前連結会計年度末比2億31百万円減）となりました。これは、主として有形固定資産が1億86百万円減少したこと等によるものであります。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、599億11百万円（前連結会計年度末比18億11百万円減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、142億13百万円（前連結会計年度末比23億62百万円減）となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が12億80百万円減少したこと、未払法人税等が3億94百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、102億33百万円（前連結会計年度末比2億84百万円減）となりました。これは、主として長期借入金が3億円減少したこと等によるものであります。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、244億46百万円（前連結会計年度末比26億47百万円減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、354億64百万円（前連結会計年度末比8億35百万円増）となりました。これは、主として利益剰余金が8億91百万円増加したこと等によるものであります。

### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、投資活動及び財務活動による資金支出が営業活動による資金収入を上回り、前連結会計年度末に比べ54億98百万円減少し、81億21百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、22億84百万円の資金収入で、前第2四半期連結累計期間に比べ収入が5億34百万円増加いたしました。これは、主として、前第2四半期連結累計期間に比べ、税金等調整前四半期純利益による収入が1億84百万円増加したこと、売上債権の増減額による収入が1億98百万円増加したこと、たな卸資産の増減額による支出が4億76百万円減少した一方、仕入債務の増減額による支出が6億6百万円増加したこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、67億82百万円の資金支出（前第2四半期連結累計期間は16億24百万円の資金収入）となりました。これは、主として定期預金の預入と払戻との差引きによる支出が前第2四半期連結累計期間に比べ84億33百万円増加したこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、6億68百万円の資金支出で、前第2四半期連結累計期間に比べ支出が1億27百万円減少いたしました。

### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間においては、新商品の開発を中心に研究開発活動のため6百万円を計上いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### (5) 主要な設備

前連結会計年度末に計画中であった基幹システムについて、完了予定年月を平成23年8月から平成24年5月へ変更いたしました。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,000,000
計	44,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,688,135	20,688,135	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	20,688,135	20,688,135		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月30日		20,688,135		5,075,000		5,469,500

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社井内盛英堂	大阪市北区天満4丁目10-15	2,391,573	11.56
井内 英夫	兵庫県西宮市	2,086,119	10.08
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U. S.A. (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	1,737,620	8.40
TAIYO FUND, L.P. (常任代理人 シティバンク銀行株式会 社)	40 RAGSDALE DRIVE, SUITE 200 MONTEREY, CA 93940 US (東京都品川区東品川2丁目3-14)	1,703,430	8.23
アズワン株式会社	大阪市西区江戸堀2丁目1-27	1,524,728	7.37
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2-1	926,425	4.48
井内 美佐子	兵庫県西宮市	602,410	2.91
井内 郁江	兵庫県西宮市	486,203	2.35
池尻 由貴	東京都世田谷区	486,203	2.35
GOLDMAN, SACHS & CO. REG (常任代理人 ゴールドマン・サックス 証券株式会社)	200 WEST STREET NEW YORK, NY, USA (東京都港区六本木6丁目10-1 六本木ヒル ズ森タワー)	477,936	2.31
計		12,422,647	60.05

- (注) 1 信託銀行等の信託業務に係る株式数については、当社として網羅的に把握することができないため、株主名簿上の名義での所有株式数を記載しております。
- 2 アズワン株式会社所有の株式数1,524,728株は株主名簿記載上の株式数であり、平成23年9月30日現在の実保有株式数は1,524,002株であります。
- 3 株式会社りそな銀行が提出した平成21年4月21日付大量保有報告書の写しの送付があり(報告義務発生日平成21年4月15日)、1,035,225株(株券等保有割合5.00%)を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有状況の確認ができないため、上記大株主の状況は株主名簿の記載に基づき記載しております。
- 4 ファースト・イーグル・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(First Eagle Investment Management, LLC)が提出した平成22年6月3日付大量保有報告書の写しの送付があり(報告義務発生日平成22年5月31日)、1,531,887株(株券等保有割合7.40%)を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有状況の確認ができないため、上記大株主の状況には含めておりません。
- 5 タイヨウ・ファンド・マネジメント・カンパニー・エルエルシー及びその共同保有者であるタイヨウ・ブルー・ジー・ピー・エルエルシーが提出した平成22年7月21日付大量保有報告書の写しの送付があり(報告義務発生日平成22年7月13日)、下記のとおり各社共同で1,982,930株(株券等保有割合9.58%)を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有状況の確認ができないため、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等 の数(株)	株券等保有 割合(%)
タイヨウ・ファンド・マネジ メント・カンパニー・エルエル シー	アメリカ合衆国、ワシントン州 98033、カークランド、キャリ ロンポイント 5300	1,800,630	8.70
タイヨウ・ブルー・ジー・ピー ・エルエルシー	アメリカ合衆国、デラウェア州 19808、ウィルミントン、ス ート 400、センターヴィル ロード 2711	182,300	0.88
合 計		1,982,930	9.58

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,524,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,030,200	190,302	
単元未満株式	普通株式 133,935		
発行済株式総数	20,688,135		
総株主の議決権		190,302	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,500株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数15個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) アズワン株式会社	大阪市西区江戸堀 二丁目1-27	1,524,000		1,524,000	7.37
計		1,524,000		1,524,000	7.37

(注) 上記のほか株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が700株(議決権の数7個)があります。なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含めております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,662,843	21,138,087
受取手形及び売掛金	17,398,796	15,073,573
たな卸資産	4,264,111	4,707,606
繰延税金資産	431,715	361,905
その他	322,419	215,675
貸倒引当金	21,631	18,679
流動資産合計	43,058,256	41,478,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,446,771	2,359,182
土地	3,434,558	3,434,558
その他(純額)	701,382	602,779
有形固定資産合計	6,582,711	6,396,519
無形固定資産		
1,896,362	1,896,362	1,969,289
投資その他の資産		
投資有価証券	4,179,458	4,170,341
繰延税金資産	643,123	653,345
投資不動産(純額)	4,884,141	4,783,896
その他	523,889	496,558
貸倒引当金	44,369	36,471
投資その他の資産合計	10,186,243	10,067,670
固定資産合計	18,665,317	18,433,479
資産合計	61,723,573	59,911,649
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,804,467	8,524,457
短期借入金	3,880,000	3,880,000
未払法人税等	1,144,223	749,683
賞与引当金	424,566	346,510
その他	1,323,028	712,719
流動負債合計	16,576,286	14,213,370
固定負債		
長期借入金	9,275,000	8,975,000
退職給付引当金	225,658	176,964
役員退職慰労引当金	328,802	342,714
資産除去債務	400,523	404,229
その他	288,237	334,586
固定負債合計	10,518,221	10,233,494
負債合計	27,094,508	24,446,865

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,075,000	5,075,000
資本剰余金	5,469,500	5,469,500
利益剰余金	27,121,157	28,012,280
自己株式	3,212,980	3,213,046
株主資本合計	34,452,677	35,343,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225,058	217,175
繰延ヘッジ損益	16,092	36,991
為替換算調整勘定	64,762	59,132
その他の包括利益累計額合計	176,387	121,051
純資産合計	34,629,064	35,464,784
負債純資産合計	61,723,573	59,911,649

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	21,154,356	22,152,501
売上原価	14,502,124	15,236,783
売上総利益	6,652,231	6,915,717
販売費及び一般管理費	4,529,147	4,296,877
営業利益	2,123,084	2,618,839
営業外収益		
受取利息	34,886	109,196
受取配当金	3,547	5,793
不動産賃貸料	28,139	64,839
その他	8,393	43,499
営業外収益合計	74,966	223,329
営業外費用		
支払利息	32,092	83,399
為替差損	3,860	500,314
不動産賃貸原価	18,801	167,938
その他	9,838	7,994
営業外費用合計	64,594	759,645
経常利益	2,133,457	2,082,523
特別利益		
投資有価証券売却益	38,500	-
貸倒引当金戻入額	4,348	-
特別利益合計	42,848	-
特別損失		
投資有価証券評価損	14,247	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	264,139	-
特別損失合計	278,386	-
税金等調整前四半期純利益	1,897,919	2,082,523
法人税、住民税及び事業税	854,950	744,491
法人税等調整額	71,592	101,955
法人税等合計	783,357	846,446
少数株主損益調整前四半期純利益	1,114,561	1,236,077
四半期純利益	1,114,561	1,236,077

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,114,561	1,236,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160,722	7,883
繰延ヘッジ損益	47,817	53,084
為替換算調整勘定	12,142	5,630
その他の包括利益合計	220,682	55,336
四半期包括利益	893,879	1,180,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	893,879	1,180,740
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,897,919	2,082,523
減価償却費	351,206	452,578
受取利息及び受取配当金	38,433	114,990
支払利息	32,092	83,399
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	264,139	-
売上債権の増減額(は増加)	2,127,636	2,326,053
たな卸資産の増減額(は増加)	918,373	442,303
仕入債務の増減額(は減少)	673,888	1,280,548
その他	257,030	310,761
小計	2,785,268	3,417,473
利息及び配当金の受取額	30,739	86,980
利息の支払額	32,741	84,839
法人税等の支払額	1,033,971	1,135,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,749,294	2,284,055
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	4,400,000	11,036,779
定期預金の払戻による収入	6,700,000	4,903,508
有形固定資産の取得による支出	219,170	19,281
無形固定資産の取得による支出	490,019	640,987
投資有価証券の取得による支出	890,500	-
投資有価証券の売却による収入	929,000	-
その他	4,949	10,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,624,361	6,782,619
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	50,000	-
長期借入金の返済による支出	100,000	300,000
リース債務の返済による支出	23,877	23,877
自己株式の取得による支出	464	66
配当金の支払額	622,422	345,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	796,764	668,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	39,245	330,609
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,537,645	5,498,125
現金及び現金同等物の期首残高	2,859,575	13,619,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,397,220	8,121,209

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
たな卸資産の内訳	たな卸資産の内訳
商品及び製品 4,216,355千円	商品及び製品 4,643,184千円
原材料及び貯蔵品 47,756千円	原材料及び貯蔵品 64,422千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
役員報酬・給与及び賞与 996,771千円	役員報酬・給与及び賞与 1,048,415千円
賞与引当金繰入額 324,883	賞与引当金繰入額 343,802
退職給付費用 33,807	退職給付費用 37,386
役員退職慰労引当金繰入額 13,915	役員退職慰労引当金繰入額 13,912

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) (千円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) (千円)
現金及び預金勘定 17,987,289	現金及び預金勘定 21,138,087
有価証券勘定 999,930	
計 18,987,220	計 21,138,087
預入期間が3カ月を超える定期預金 13,590,000	預入期間が3カ月を超える定期預金 13,016,877
現金及び現金同等物 5,397,220	現金及び現金同等物 8,121,209

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	622,537	32	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年10月29日 取締役会	普通株式	408,534	21	平成22年9月30日	平成22年12月2日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	344,955	18	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	383,282	20	平成23年9月30日	平成23年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

報告セグメントが一つのため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントが一つのため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

報告セグメントが一つのため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントが一つのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	57円29銭	64円50銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	1,114,561	1,236,077
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,114,561	1,236,077
普通株式の期中平均株式数(株)	19,454,176	19,164,158

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 2 【その他】

第51期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）中間配当については、平成23年10月31日開催の取締役会において、平成23年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| (イ) 配当金の総額             | 383,282,660円 |
| (ロ) 1株当たりの金額           | 20円00銭       |
| (ハ) 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成23年12月2日   |

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

アズワン株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 吉田敏宏 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 平岡義則 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアズワン株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アズワン株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。